

整理番号	21002
評価対象年度	令和3年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年1月27日
事業担当課	移住支援室
担当者・内線	箱崎・2762

《基本情報》

事務事業名	ながさきウェルカム推進費 (ワーケーション・ネットワーク構築、ワーケーション事前視察受け入れ、ワーケーションモニター、ワークスペース社会実験)		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大
基本施策	A2 まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます		
基本施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	市域全体が	まちなみ、自然等の地域の個性を活かし、魅力的になっている。	
個別施策	A2-1 地域の景観や自然など個性を活かしたまちづくりを推進します		
個別施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	景観や自然等の地域の個性が	まちづくりに活かされている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	第2期長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、「経済を強くし、新しいひとの流れをつくる」という目標を掲げ、移住促進などの施策を展開している。 新型コロナウイルスの感染拡大により全国的に地方移住の機運が高まっており、また、テレワークを経験し、柔軟で多様な働き方が大企業を中心に広まったことで、「ワーケーション」という新しい働き方が注目されている。 ワーケーションの受け入れを推進することは、新しい人の流れをつくり、将来的な移住者の裾野の拡大につながると思う。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	「ワーケーション」の受け入れを行うことで、長崎市への新しい人の流れを作り、将来的な移住者の増加につなげたい。
課題(どういことをする必要があるので)	長崎市においてワーケーションの受け入れを推進するため、民間事業者等と連携した受け入れ態勢を整える必要がある。また、実際にワーケーションを行う企業や個人のニーズを把握することで、課題の抽出を行う必要がある。
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	<input type="radio"/> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	(1) ワーケーション・ネットワーク構築事業 ワーケーションに関する事業者等のネットワークづくりのための会議を開催する。また、ワーケーション受け入れの機運を高めるため、専門家を招いた勉強会を開催する。 【対象】 ワーケーション受け入れを検討している宿泊施設等の事業者、団体、行政機関等 【内容】 ネットワーク会議6回(20人程度/回) 勉強会1回(40~50人/回) 【総事業費】 500千円(謝礼金・旅費、会場借上費等) 【事業費内訳】 謝礼金30千円(15千円×2人)、旅費180千円(90千円×2人)、 需用費106千円(チラシ印刷等)、役務費62千円(郵送料)、 委託料100千円(デザイン等)、会場借上費22千円(会議室、勉強会)
--	--

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業 期間、総事業費、事業 費内訳等記載)	<p>(2) ワークेशन事前視察受け入れ事業 ワークेशनの導入を検討している企業に対して、導入に向けた事前視察の旅費を負担し、来崎していただくことで、長崎市でのワークेशनの導入にあたっての課題抽出を行う。</p> <p>【対象】 長崎市内でのワークेशनを検討している企業 5社 【視察期間】 2泊3日 【事業主体】 長崎市 【事業期間】 令和3年度 【総事業費】 500千円 【事業費内訳】 旅費 500千円 ※1社あたり100千円×5社</p> <p>(3) ワークेशनモニター事業 長崎市内でのワークेशनのモニターを募集し、実際に長崎市に滞在してもらい、滞在にあたってのニーズの把握や課題の抽出を行う。 また、モニター自身に滞在中の様子をSNS等で発信してもらい、身近な人への口コミによるPRを行う。</p> <p>【対象】 長崎市内でのワークेशनを検討している方 20組 【対象期間】 長崎市内の2泊3日以上滞在 【事業主体】 長崎市 【事業期間】 令和3年度 【総事業費】 400千円 【事業費内訳】 謝礼金 400千円 ※20千円/組</p> <p>(4) ワークスペース社会実験 長崎市の魅力である斜面地、歴史を感じられる大浦地区において、社会実験を行っている洋館にWi-Fi環境を整備し、ワークेशन滞在時に仕事をする場所としても活用できないか社会実験を行う。</p> <p>【施設名】 東山手甲十三番館 【事業主体】 長崎市 【事業期間】 令和3年度 【総事業費】 600千円 【事業費内訳】 役務費 42千円(インターネット回線開設) 委託料 500千円(Wi-Fi環境整備) 使用料・賃借料 58千円(インターネット回線使用料)</p>							
	業務量の増減	340時間の増						
	市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)	<input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input checked="" type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 ワークेशन受け入れについて既存事業者、団体等とのネットワークづくりを行い、協働して受け入れを行っていく。また、企業の視察受け入れ時の対応やモニター募集の際の広報について、既存の事業者の協力を得ながら実施する。						
	事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)						
予算額		金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源	
	当年度	2,000					2,000	
	総額	2,000					2,000	
	財源名称							
成果(活動)指標	指標(単位)	ワークेशनモニター件数						
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	目標値	20						
	成果指標及び目標値の説明	<p>ワークेशनのモニター件数が増加することで、ワークेशन推進のためのニーズ把握や課題抽出を行うことができ、また、SNSによるPR効果も上がるため、モニター件数を成果指標とした。</p> <p>モニター件数の上限数を目標値とした。</p>						

評価結果

(1) 今後の事業の方向性と理由

<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input type="checkbox"/> 所管案のとおり	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善	<input type="checkbox"/> 事業規模拡大	<input type="checkbox"/> 事業規模縮小
	<input type="checkbox"/> 事業統廃合	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			

(2) 評価会議における指摘事項

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全国的な地方移住の機運の高まりがみられる中、柔軟で多様な働き方として「ワーケーション」という新しい働き方に注目が集まっている。

将来的な移住者の裾野の拡大に向け、新たな人の流れをつくるため、民間事業者等と連携したワーケーションの受入れ態勢の整備やモニター事業等を通して本市でのワーケーション導入におけるニーズの把握及び課題抽出を行うものである。

本市への新たな人の流れをつくることで、関係人口の増加が図られ、さらには移住の促進へと寄与することから、事業の実施は適当である。

ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。

【市長ヒアリングまでに整理すべき事項】

- ・移住者数の状況を示すこと。
- ・ワーケーションに関する本市の現状と課題を分かりやすく示すこと。